

JA金沢中央 自己改革の取り組み報告

令和元年度

JA金沢中央は平成28年より「農業者所得の増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を目標に、引き続き自己改革に取り組んでいます。

常に皆さまに選ばれ、喜ばれるJAを目指し、役職員一丸となって改革をすすめています。

農業者所得の増大

農作業の受託事業

田植えや稲刈りなど農作業受託と農地保全を行っています。農業機械の経費節減に加え、兼業農家と後継者の作業軽減に貢献しています。

【平成30年度実績（ ）内は29年度】
農作業受託合計 59.1ha (59.5ha)
保全管理合計 61.6ha (51.3ha)



農業生産者の支援



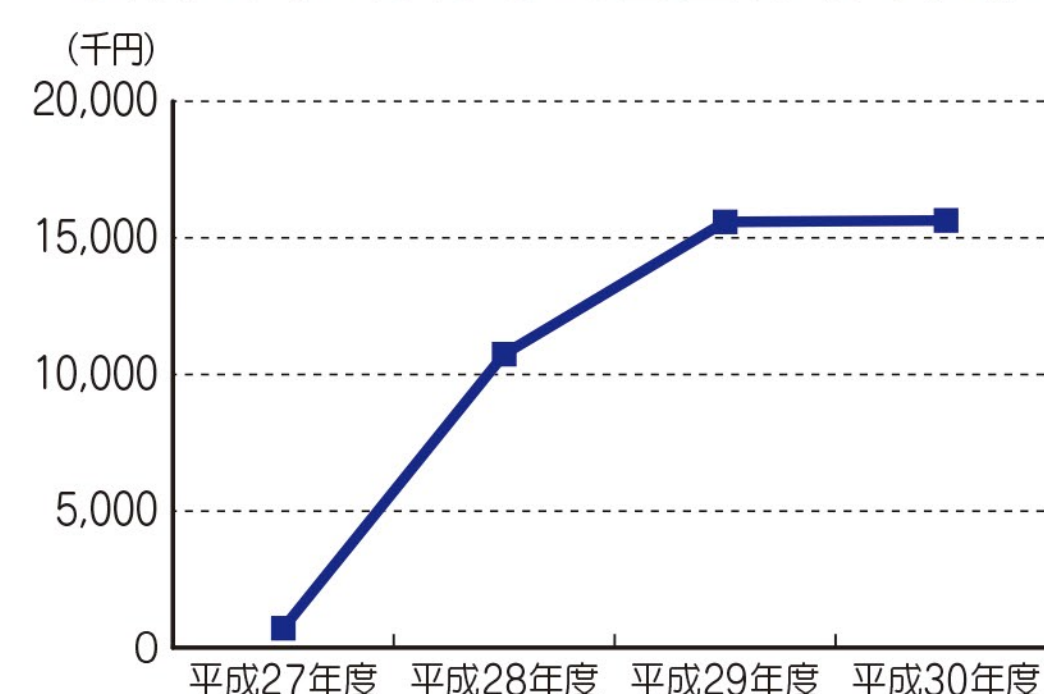
アグリサポートセンターを7月に新設。営農関連部署（営農企画課、販売指導課、営農支援課《旧資産管理課》）をひとつの事務所に集約し、支援体制の強化と利便性向上を図りました。

米の利用高配当金引き上げ

当JAでは管内産米を全量買入れています。また出荷量に応じた利用高配当金を段階的に引き上げています。

30kg 1袋あたり
～平成27年度 …… 20円
平成28年度 …… 300円
平成29年度～ …… 500円

米販売高にかかる配当金総額の推移



ふれあいフェスタ



農業やJAを広く知ってもらうため、地域向けのイベントを秋に開催しています。

豪華賞品大抽選会や野菜販売・模擬店、ステージイベントなど楽しい企画が盛りだくさん！

米づくり体験農園



地域の活性化

いしかわ田んぼの学校プロジェクトは、子どもたちに“食”と“農”の大切さを学んでもらおうと石川県とJAグループで実施しています。

当JA管内では鞍月・木曳野・西・緑小学校の4校が生産者の協力を受け、田植えや稲刈りに取り組んでいます。

農業生産の拡大

水稻・野菜栽培講習会



各支店ごとに実施している水稻・野菜栽培講習会には多くの参加がありました。

講義に加え、現地講習も分かりやすいと大人気です。

ふれあい朝市・夕市



全支店で開催。地産池消の取り組みが生産者・消費者に大好評！

少量出荷が可能なので、自家消費しきれない野菜の有効活用や、休耕地を利用した生産も増加。

今年の4月には生産者組織の朝市部会も発足しました。

6次産業化商品への取り組み

特産農産物を活用した商品づくりで、生産者の所得増大や生産意欲の向上に繋がっています。

「大徳金時」さつまいもで作った本格芋焼酎「金澤犀華」。

「二塚からしな」の種をマスタード風味で仕上げた“二塚からしなドレッシング”。

そして「特別栽培米 金沢美人」から“純米吟醸 あまくち 金沢美人”が今秋デビューしました。



「特別栽培米 金沢美人」は健康で肌がきれいな“金沢美人”になってほしいとの願いを込め、農薬や化学肥料を削減し、自然に近い環境で育てる安全・安心なコシヒカリです。

「純米吟醸 あまくち 金沢美人」はこの特別な米を原料にやさしく醸造。肌を美しくするアミノ酸を従来の2倍も含む、女性に嬉しいお酒です。



(令和元年～)
純米吟醸 あまくち
金沢美人



(平成29年～)
芋焼酎 金澤犀華



(平成30年～)
二塚からしな
ドレッシング